

田中愷次郎氏

軍縮の institutional side

お礼)

田中: 軍縮の道義面 (ラッセル・P)

(山本)

- 1) Instrumental 面と institutional 面がある (広義呼)
- 2) 過去の軍縮の事例
- 3) 軍縮の institutional 面 (国際法, 国際条約)

1) 1941年8月 ルーゼベルト 4p-4v 太平洋憲法 その名に "西国は世界の一切の口
民は平和を望む" 加のほうをほうきするに信じて信ず"

as realistic as well as spiritual

同じことはついでに 軍縮も (instrumental と institutional
realistic as well as spiritual

戦争問題 分析するとき → 二つに分ける
道義的側面

核兵器の 発展 に対し institutional が立ちはたす

今までの戦争観を変えた フックル・アインシュタイン 聲明の件に「のりみはるに
1=核 2=核兵器 全面軍縮

軍縮は二つの面をもち 一つは「い」にはきりかたせらる

軍縮への approach instrumental から 4p-4v ^{か重要} disarmament engineering.
道義的側面 → 国際法 国際条約

2) 過去の事例

過去の軍縮会議で成功は例 海軍の軍縮条約 ワシントン (1921年)

この軍縮会議の成果 主力艦 駆逐艦

アメリカ	15隻	4隻
イギリス	20	4
日本	10	6

保有比率 米 5 英 5 日 3

このときのロム長官 エバング・セューツ

指導は教く (1) 各艦隊に「はるか」と英・米が「年々」日をおさえた。フランス・
イタリアは小口あつた。ごめん

(2) 部分軍縮では、そこで補助艦の競争がある

1930年 ロンドン会議 (米・英のきまうそがはげしい)

1928年 戦争放棄条約が生まれる。マドリードの努力で ロンドン会議 1930年 米 30,000

c092-005-013

(その考えをいふおこせ)

12a5

田中: ソレはマルキエスの理想論が軍縮に生じている。理想主義的に出
ている一方、僕の文はいいとすると別の面がある。だからわかる。
坂田: PもMもモランがなりののではなく、不動のモランがあるのかも。

~~小野~~